

# 徳島県の一体的実施

平成24年4月1日事業開始

「とくしま求職者総合支援センター」を拠点として、県と国（ハローワーク）による生活相談者を対象とした生活支援と就労支援を効果的・効率的に実施

県

生活・就労相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

## ① 事業内容

- ・窓口における生活相談者に対する住居の確保、生活維持に関する相談援助及び就職に向けた能力開発のための職業講習、職業訓練受講に関する相談、職業相談・職業紹介、求人情報提供、労働市場の状況等に関する情報提供

## ② 協定・事業計画

- ・徳島県知事と徳島労働局長の間で協定(\*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を徳島県と徳島労働局の間で策定

\* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

## ③ 運営協議会

- ・徳島県職員、徳島労働局職員をメンバーとする運営協議会を設置

生活相談者への生活支援から就労までの総合的な相談・支援を一体的に実施することにより、利用者へのサービス向上を実現。

## (1) 実施体制

県

- ・就労支援員2名を配置

国

- ・職業相談員3名を配置
- ・求人情報提供端末20台、職業紹介端末3台を配置

## (2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(25年10月末時点)
とくしま求職者総合支援センター窓口相談	○利用者の就職率 33.0%以上	○就職率 4月～10月: 52.5%
	○新規利用者数 合計: 1,200人以上	○新規利用者数 4月～10月: 531人

# 一体的実施事業による就職成功例

男性：40歳代 希望職種：サービス職  
直近の状況：事業縮小のため離職して帰郷

女性：40歳代 希望職種：介護職  
直近の状況：ドラッグストア、  
パートタイマーのレジ係で在職中

## ① 抱える課題

- ・正社員としての就職を強く希望している。
- ・前職の勤務条件と同等の求人を選択したいが適合する求人がなく、応募まで至っていない。

## ① 抱える課題

- ・母子家庭であり、家計を支えなくてはならない。
- ・収入アップのため転職を希望。
- ・将来的に続けられる仕事として介護職を希望。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・再就職支援として、ハローワークで受理した求人だけでなく、県施設であるU・ターンコーナーとも連携してU・ターン対象の求人情報も提供。
- ・有効求人希望する求人が見いだせないため、雇用形態がパートとなっている求人の中で、正規雇用可能性ありの就業形態の求人も含めて相談を進めた。
- ・書類選考の実施する事業所が多いため、国の職業相談員が応募書類（履歴書・職務経歴書）の作成指導等の支援を実施するなどの援助を続けた。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・来所時、介護の訓練を希望していたため、県の就労支援員が介護職員養成訓練について説明。
- ・県の就労支援員が、相談していたところ、母子家庭で家計を支えなくてはならず、訓練中の生活費等の悩みもあることがわかり、訓練よりも就職を考えた方が良いのではと、国の「マザーズコーナーとくしま」に誘導。
- ・国の「マザーズコーナーとくしま」で、失業を経ない早期再就職希望を確認し、ヘルパーの資格を要さない介護職求人もある旨を説明し、求人情報の提供を行った。
- ・国の「マザーズコーナーとくしま」で応募書類の作成指導を行い、資格、経験はないが意欲の高さをアピール出来るよう支援を行った。

- ③ 結果 ※支援期間 6か月  
市内のホテルで採用（後に正社員に登用された）
- ・飲食サービス部門（パート職）
  - ・一日5時間程度 週6日勤務

- ③ 結果 ※支援期間 2か月  
市内の介護施設で採用
- ・前職離職日の翌日から就職
  - ・正社員で 夜勤無・社会保険等完備